

北御堂 **公開講座**

# 今、生きていることの意味

— 仏教の智慧、現代への応用 —

今、私たちはなぜ生きているのか。何のために生きているのか。

この殺伐とした現代、つながり支えあう「いのち」。

生きている実感を、その意味を仏教から学び、

その智慧を生かし、こころ豊かに現代を生きる。

**入場  
無料**



評論家

**宮崎哲弥**

×



兵庫  
大学  
教授

**釈徹崇**

**日時**

2010年 **3月18日(木)** 19:00 ~ 20:20

**場所**

**本願寺津村別院 (北御堂) 本堂**

※定員 400 名・当日先着順・事前申込不要



今日、人々はさまざまな不安や悩みを抱えながら生きています。

戦後60年が過ぎ、我が国は技術の進歩により著しい経済発展を成し、人々の生活が豊かになりました。しかし、それに伴い、人間の欲望も限りなく広がりを見せ、その結果、近年ではエネルギーの浪費と枯渇、環境破壊、戦争への危機、不平等による格差社会、さまざまな社会要因が生む孤立や自死、さらにはいのちの軽視や倫理観の欠如に伴う事件が相次ぐようになりました。それは、欲望が膨らむにつれ、自己中心的な考えがいよいよ強まったからではないでしょうか。

このような現代社会にあって、私たち一人ひとりが自分本位のこころを謙虚に反省して、共につながり支え合っている「いのち」を生かされて生きている他の存在に気づくことが求められています。そして、私たち一人ひとりが社会の一員として共に歩むために、何をなし得るかを考えなければなりません。

我が浄土真宗本願寺派は、2011（平成23）年に宗祖親鸞聖人の750回大遠忌をお迎えします。

北御堂では、この大遠忌のスローガンである「世のなか安穩なれ」の願いのもと、宮崎哲弥氏、釈徹宗氏を迎え、「今、生きていることの意味ー仏教の智慧、現代への応用ー」をテーマに、公開講座を開催いたします。

これを機縁として、人々の心に変化が生じ、やがてはそれが大きなうねりとなって、世の中が、人の心が「安穩」となることを願います。

## プロフィール

### ● 宮崎哲弥（みやざき・てつや）

1962年、福岡県生まれ。慶応義塾大学文学部社会学科卒業。時事論、大衆批判、政治哲学、宗教学を主軸とした評論活動をテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などで行う。著書、共著書に『1冊で1000冊読めるスーパー・ブックガイド』（新潮社）、『新書365冊』（朝日新書）、『宗教と現代がわかる本2007』（渡邊直樹編著、平凡社）などがある。現在、文藝春秋社『週刊文春』「宮崎哲弥のDVD教養主義」連載中。

### ● 釈 徹宗（しゃく・てっしゅう）

1961年、大阪府生まれ。大阪府立大学大学院人間文化研究科博士課程修了。学術博士。兵庫大学教授。浄土真宗本願寺派如来寺住職。NPO法人リライフ代表。著書に、『親鸞の思想構造ー比較宗教の立場からー』（法蔵館）、『ゼロからの宗教の授業』（東京書籍）など多数。論文『不干斎ハビアン論』で第五回涙骨賞（中外日報社）を受賞。

## 会場案内

### 本願寺津村別院（北御堂）

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-3 TEL 06-6261-6796

地下鉄御堂筋線「本町」駅下車 A階段②号出口すぐ

